

## 疫病抵抗性湿地カラーの育成

農業総合研究所

## 要旨

湿地カラーの主産地である山城地域では、仏炎苞(花)が白色で年内出荷可能な品種「チルドシアーナ」にカラー疫病が発生し、産地に壊滅的な被害をもたらした。そこで、「チルドシアーナ」と疫病抵抗性品種「ウェディングマーチ」との交雑育種により、年内出荷が可能で切花品質の優れた疫病抵抗性カラーを育成した。

## 成果の概要

- ① 育成系統「10W-2-101」は平成10年に「ウェディングマーチ」を子房親に、「チルドシアーナ」を花粉親として交配した実生の中から選抜した系統である。
- ② 城陽市汚染圃において罹病した「チルドシアーナ」根部から分離したカラー疫病菌を育成系統に接種し、疫病抵抗性検定を行ったところ、生育良好で、株当たりの葉数は無接種区と同等であり、罹病株率は0.0%であった(表1)。
- ③ 育成系統においては、切花長、切花重とも「チルドシアーナ」と同程度で、その花茎径は、「ウェディングマーチ」と「チルドシアーナ」の間であった。仏炎苞(花)の色は「チルドシアーナ」と同程度の白色であった(表2)。
- ④ 育成系統の採花開始期は11月で、年内出荷が可能な早生であった(図1)。
- ⑤ 育成系統「10W-2-101」は疫病抵抗性があり、カラー疫病の汚染ほ場においても生産が可能である。
- ⑥ 育成系統は、本年度、品種登録出願し、次年度から配布する予定である。

表1 育成系統および交配親におけるカラー疫病菌接種55日後の葉数と罹病株率

品種・系統名	葉数(枚/株)		罹病株率(%)
	無接種	接種	
チルドシアーナ	17.3	10.0*	66.7
10W - 2 - 101	11.0	12.0	0.0
ウェディングマーチ	8.5	7.9	0.0

\*:同一品種間で5%水準で有意差があることを示す。(テューキーのHSD検定)

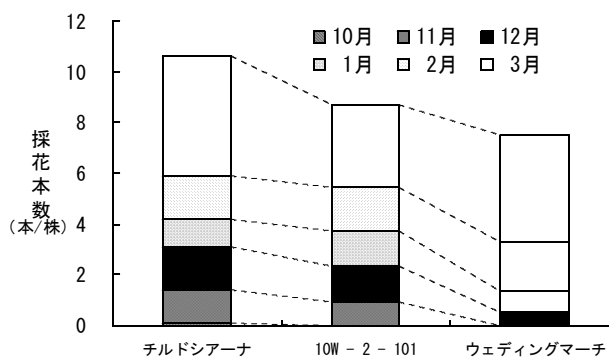


図1 育成系統および交配親の月別採花本数

表2 育成系統および交配親の切花特性

品種・系統名	切花長(cm)	切花重(g)	花茎径(mm)		仏炎苞の色(JHSカラーチャート)
			仏炎苞直下	花茎最基部	
チルドシアーナ	84.4 a	80.9 a	10.1 a	17.6 a	黄白(2701)
10W - 2 - 101	81.1 a	81.6 a	11.6 b	25.5 b	黄白(2701)
ウェディングマーチ	95.1 b	130.2 b	15.1 c	35.0 c	淡黄緑(3102)

同一カラム、異英文字間で5%水準で有意差があることを示す。(テューキーのHSD検定)